



# 私のひとこと



東海林和彦さん  
(山田・61歳)

「おい、来たぞー」。船越から織笠へと車は進む。やがて陸橋を下っていくと、えも言われぬ美しい山田湾が開けてくる。その瞬間私はいつも車の中でこう発してきた。「帰ってきたぞー」それは、若き日、久しぶりに帰省する故郷への叫びであった。そんな故郷への思いを募らせた日々から幾年月…。

ところが、この愛して、愛して止まない故郷が、今、どこをとらえても元気がない。元気喪失どころかどこへ行こうとしているのか心が痛む。私を生み、育んでくれた山田よ、君はどこへ行こうとしているのか。確かに、今、「地方分権」とはいいつつ、どこも苦しんでいる(その一方で都市は栄え…)。ただ、ここで見落としてはならないのは「地域間格差」も進行

しているということだ。元気で活気のある市町村と、そうでない所が次第に明らかになってきている(かつて山田にいた同僚いわく「十五年前までは山田は輝いていた」と。しかし、その山田が今…)。  
この素晴らしく、誇らしかった山田の一現実を紹介しよう。それは、昨秋から始めた「弁当配達」のボランティアで知ったことなのだが、あまりにも目に付く廃屋(無人)の数(実は、私の実家も同様の状態)。もしも、これが進行していったらたら…。  
「自由化、市場化」は自治体をも襲ってきている。生きるか、死ぬか、今、自治体にもその知恵と力が試されている。  
ぜひ、行ってみたい町、住んでみたい町にするにはどうしたらよいか。もしも金がないと言うのであれば、知恵とアイデアで。そして、今、求められているのは、百の議論よりも、一つの実行。町全体が一つになって行動すること。それしか山田再生の道はないように思われる。

**明日の山田が見えてくる**

皆さんで議会を傍聴しましょう。

12月定例会は、  
12月5日に開会の予定です。

## 議員出欠表

● 病气入院 □ 公務欠席  
△ 遅刻早退 ○ 自己都合

月日	本会議種別	欠席者等氏名
9月6日	第3回定例会	○佐藤 忠暉
9月7日	〃	△川村 敬一 ○佐藤 忠暉
9月8日	〃	△豊間根 彪 △川村 敬一
9月13日	〃	○川村 敬一 △昆 暉雄

## あとかき

▼九月三日の総合防災訓練に先がけて八月二十七日大浦地区で自主防災組織が呼びかけた津波講演会が開催され、百人近い住民が聴講しました。日常の津波対策が本場に必要な昨今です▼今年のウニ漁は不漁でした。一月から三月までの低水温が原因で、異常に海藻が繁茂したためウニ漁の障害となったといわれています。来年は、今年の取り残しを含め大漁を期待したいものです▼九月定例会は、十二人の議員が一般質問に登壇し町長や執行部と活発な論戦を展開しました。残念なことに今議会も傍聴する人が数人しか見えませんでした。本町発展のため議員一同頑張っていますので、皆様の傍聴をお待ちしています。(生駒)

## 議会広報編集特別委員会

議長	佐々木 良一
委員長	田村 剛一
副委員長	道又 秀悦
委員	小森 隆
〃	黒沢 成
〃	山田 利治
〃	生駒 治

